



全国学力・学習状況調査の結果の概要について

全国の小学6年生を対象に4月23日(木)【※質問紙調査は27日(月)】に行われました全国学力・学習状況調査について、本校の結果の概要をお知らせいたします。今回の調査結果から課題を明らかにし、今後の学習指導等に生かしていきます。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御留意ください。

1. 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語・算数)

- ①身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2. 調査結果

【国語】

■全国の平均正答率と比較して、以下の基準でお伝えします■

◎: +3.1ポイント以上 ⇒ 上回っている

●: +3ポイントの範囲内で全国平均以上 ⇒ ほぼ同程度であるが、やや上回っている

○: 全国平均と同じ ⇒ 同程度

▽: -3ポイントの範囲内で全国平均以下 ⇒ ほぼ同程度であるが、やや下回っている

▼: -3.1ポイント以下 ⇒ 下回っている

本校の概要

【知識及び技能】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

▼全国平均を下回っている。

【思考力、判断力、表現力等】

「話すこと・聞くこと」

▼全国平均を下回っている。

「書くこと」

▼全国平均を下回っている。

「読むこと」

◎全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

【知識及び技能】

・情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。

・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。

【思考力、判断力、表現力等】

・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。

・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。

改善の方向

【知識及び技能】

・図や表を用いて情報と言葉のつながりを整理し、深い理解につなげる。

・筋道の通った読みやすい文章になるよう、全体の組み立てや展開を工夫できるよう指導していく。

【思考力、判断力、表現力等】

・グラフや写真などの資料を効果的に活用し、自分の考えを分かりやすく伝えられる学習活動を工夫する。

・理由や具体的な事例を取り入れ、最も伝えたい中心を明確にして話す経験を重ねていく。

【算 数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【数と計算】 ▼全国平均を下回っている。	【数と計算】 ・異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できる。	【数と計算】 ・通分などの根拠を、数や言葉で筋道を立てて記述させるようにする。
【図形】 ▼全国平均を下回っている。	【図形】 ・一辺が8cmの立方体の体積を求める式を書く。	【図形】 ・表や図を用いて条件や数量の関係を可視化し、立式するように働き掛ける。
【変化と関係】 ▼全国平均を下回っている。	【変化と関係】 ・百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができる。	【変化と関係】 ・線分図等を活用し、視覚的に立式の手掛かりを見付けられるような学習活動を充実させていく。
【データの活用】 ▼全国平均を下回っている。	【データの活用】 ・二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。	【データの活用】 ・縦と横の条件を交差させて確かめる習慣を身に付けられるよう指導を重ねていく。
【測定】 ▼全国平均を下回っている。	【測定】 ・示された情報を基に、数量の關係に着目して、条件に合う時間を求めることができる。	【測定】 ・数量の關係から条件に合う時間を求める手順を、言葉や式を使って説明するような学習活動を取り入れる。

【生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査結果】

肯定的な回答が多かった質問事項	否定的な回答が多かった質問事項
・学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。 ・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 ・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 ・これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか。 ・総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか。	・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 ・あなたの学級では人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。 ・算数の授業の内容はよく分かりますか。 ・新聞をどれくらい読んでいますか。 ・昼休みや放課後に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館、学校図書室にどれくらい行きますか。

本調査により、児童の主体的な学ぶ姿勢や ICT 機器の活用能力において成果が見られました。今後も自ら課題を設定し、探究していく意欲を大切にしながら、指導を続けていきます。

一方で、自己肯定感の向上や、多様な考えを受け入れ合える安心・安全な学級風土の醸成、読書・情報への関心の高揚については、継続的な課題として認識しております。互いの違いを認め合い、誰もが安心して自分の意見を表現できる学校づくりをより一層推進してまいります。

なお、本調査は、6年生を対象として行われたものですが、その結果は本校の教育全体の成果や課題であると捉えております。今後も指導方法の工夫改善や、御家庭や地域と一体となった取組によって、子どもたちの確かな成長につなげていきたいと考えております。